

2026 シンポジウム

今、学校はどうなっているのか

～次期学習指導要領、 教育のデジタル化で子どもはようになる



どなたでも参加できます。

今、小中学校の不登校児童・生徒は35万人で過去最多です。いじめの認知件数も過去最多で、子どもの自殺も増加しています。特別支援学校の教室不足は限界です。教職員の過重労働も深刻で、教職をめざす人は減る一方です。

地域に目を向ければ、学校の統廃合で次々と学校はなくなっています。今、学校と子どもたちの現状は深刻な状況です。

現在、国では次期の学習指導要領(学校の教育活動の全体計画や各科目の基準)を検討中です。2026年度中には小中学校の「審議まとめ」と「答申」が出される予定です。次の指導要領は学校と子どもたちを取り巻く困難を少しでも解決できるのでしょうか。

各学校現場の実態を出し合いながら、学習指導要領について話し合ってみませんか。

7月26日 (日) 13:30~16:30

参加費
500円

埼玉会館 3A 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4
(JR浦和駅(西口)下車 徒歩6分)

シンポジスト
菊地 肇 さん(公立小学校教員)
原田 浩 さん(県立高校教員)
吉田 雅人 さん(さいたま市の学校と教育を考える市民の会)

コーディネーター
小野 知二 さん(埼高教副委員長)

主催/さいたま教育文化研究所
共催/埼玉県教職員組合
埼玉県高等学校教職員組合

[問い合わせ先]
さいたま教育文化研究所 048-831-4266
kenkyujo-1@kyouiku-net.org